

高浜発電所3号機
「B-SG水位異常低」警報発信による原子炉自動停止について
(原因調査状況)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

高浜発電所3号機(加圧水型軽水炉；定格電気出力87.0万kW)は、第17回定期検査のため平成18年8月18日18時50分より出力降下を開始し、翌19日01時00分に発電停止する予定であったが、出力降下中の8月18日23時55分、電気出力約11%にてB系統の給水制御を主給水流量制御弁から主給水バイパス流量制御弁へ切替操作を行っていたところ、「B-SG水位異常低」警報が発信し、原子炉が自動停止した。

なお、この事象による周辺環境への影響はない。

[平成18年8月19日 記者発表済み]

1. 事象発生時の状況

- ・運転員は、電気出力約11%において、給水流量が主給水バイパス流量制御弁で制御できる範囲にあることを確認した上で、B系統の主給水流量制御の自動切替操作を開始した。
- ・主給水流量制御弁は閉動作したが、これと同時に開動作すべき主給水バイパス流量制御弁は閉状態のままであったことから、B蒸気発生器への給水流量が低下し、蒸気発生器水位が低下した。
- ・このため、運転員は自動切替操作を中止し、手動で主給水流量制御弁を開き、蒸気発生器水位の回復操作を行ったが、水位低下が継続し、原子炉が自動停止した。

2. 主給水バイパス制御弁の点検状況

- ・事象発生時の状況から、主給水バイパス流量制御弁に動作不良が発生したものと考えられるため、当該弁の動作試験を実施した。
- ・その結果、弁開度を調整するポジションナーにおいて、入力信号(弁開度要求信号)に対する出力信号(弁開度調整信号)の応答が遅いことが確認された。

3. 今後の予定

- ・今後、当該ポジションナーを工場に持ち帰り詳細点検するとともに、当該弁について、弁本体および制御系の点検を行う。

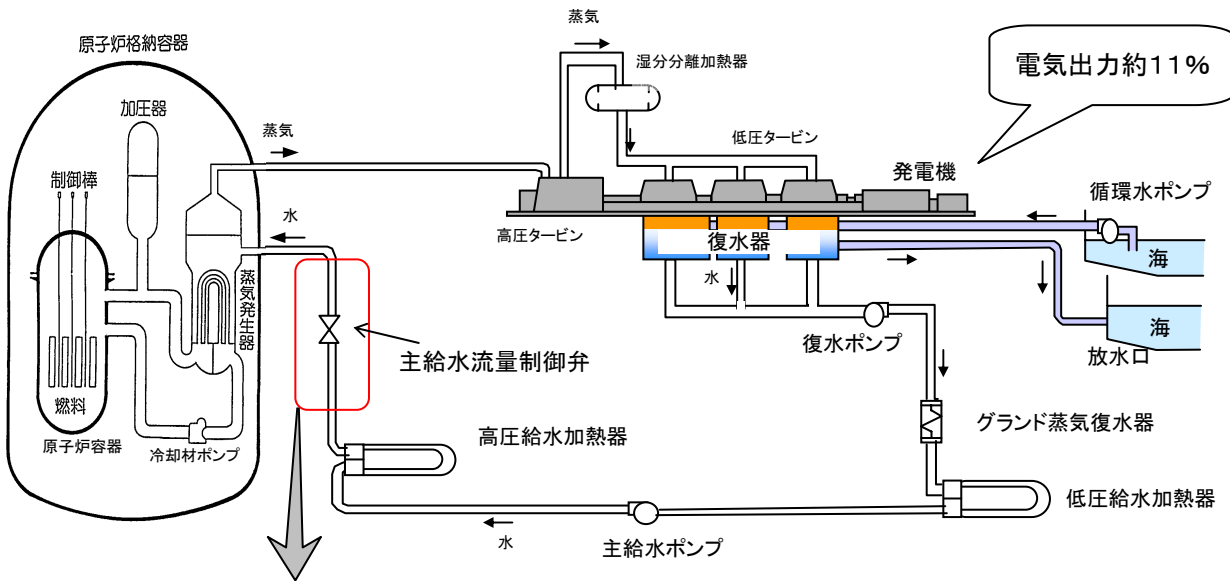
(I N E S による暫定評価)

基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
—	—	0 +	0 +

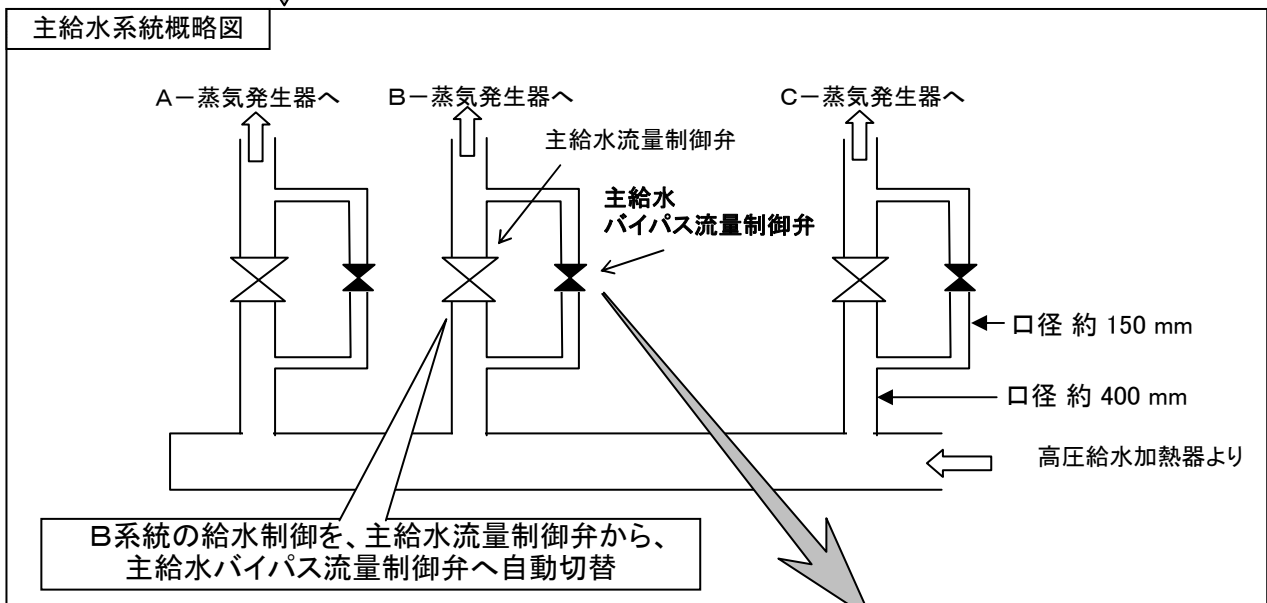
問い合わせ先(担当：三木)
内線2354・直通0776(20)0314

高浜発電所3号機「B-SG水位異常低」警報発信による 原子炉自動停止(原因調査状況)

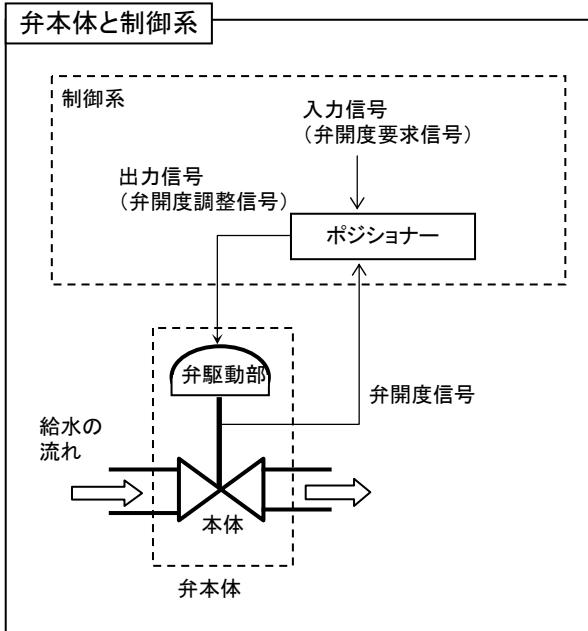
概略系統図



主給水系統概略図



弁本体と制御系



主給水バイパス流量制御弁構造図

